



中道古墳群 10 (曾根丘陵公園)

(表示の時間は移動時間の目安です。※見学時間厳守)

○中道往還十代人と丘陵散歩
甲府南インターチェンジ近くには、古墳群があります。気持ちのいい芝生広場に歩道やベンチもあり、周囲の山の展望や季節の花も楽しめます。



ゴール 2分

銚子塚古墳

(ちょうじづかこふん)
上からの風景はなかなかです。4世紀後半につくられた東日本最大級の前方後円墳で、国指定の史跡。お銚子(柄の長い酒器)に似ていることから名づけられました。周溝をひとまわりして見学できます。



前スポットから 3分

丸山塚古墳

(まるやまづかこふん)
すでに鉄がここまで来ていた! 銚子塚古墳の隣にある円墳。ここからは5世紀初め頃の鏡や鉄斧など副葬品が見つっています。直径72m、高さは11mで墳丘上には桜の木があります。国指定の史跡です。

方形周溝墓

(ほうけいしゅうこうぼ)
散歩をするのも良いです。弥生時代後期から古墳時代前半につくられたもの。墓の周りに溝を方形に掘り、内部に盛土をしているのが特徴で、共同墓地だったと推測されています。現在、35基を復元。

スタート 30分コース (滞在時間は含まれません)



植木で四角くカチチを残しました。中程の4人掛けテーブルと大きさを比べると...

風土記の丘農産物直売所

(ふどきのおかのうさんぶつちよくばいしょ)
地元の産物が色々そろって楽しい! 甲府南IC近くにあり。美味しくて新鮮な野菜や果物をはじめ、山梨のお土産も販売。帰りに寄ってみるのも楽しみ。火曜定休。9:00~18:00

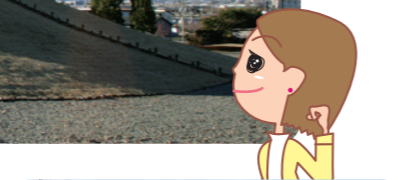


右左口の里

(うばくちのさと)
富士五湖スタイルの釣り堀も釣り堀やバーベキュー場、バンガローなどがそろっています。陶芸教室内には山崎方代の資料館もあり。月曜定休。9:00~17:00。TEL055-266-4680



南アルプス、八ヶ岳が一望



前スポットから 5分

岩清水遺跡

(いわしみずいせき)
弥生時代の集落跡です。弥生時代後期の住居跡や古墳時代中期の円形周溝墓などがあります。ここからは須恵器や土師器(はじき)も出土しています。



前スポットから 15分

山梨県立考古博物館

(やまなしけんりつこうこくぶくかん)
甲府盆地の変遷が丸解り! 約3万年前の旧石器時代から現在までの山梨県内で発掘された考古資料を数多く収蔵・展示しています。また、平成30年5月に文化庁により認定された「日本遺産」の構成文化財も数多く展示されています。
DATA ●055-266-3881 ●大人210円 ●9:00~17:00(入館は16:30まで) ●月曜、祝日の翌日、年末年始

ここで 5分

東山南遺跡

(ひがしやまみなみいせき)
渡来人文化が残ります。弥生時代後期から古墳時代中期にかけての遺構や遺物が発見された場所。渡来人より伝えられた須恵器(すえき)が出土しています。



北の方に金峰山が見えます

中道往還ってどんな道?

(なかみちおうかん)
甲府盆地と駿河を最短距離で結んだ古道。甲斐からその一番の難所・右左口峠へ向かう長い坂道沿いに曾根丘陵が位置し、商人や旅人にてぎわう「右左口宿(うばくちじゅく)」がありました。



山崎方代 (漂泊歌人と中道往還)



山崎方代ってどんな人?
(やまさきほうだい)
知る人ぞ知る昭和の漂泊歌人。右左口出身。戦争で右目を失明、左目も弱視に。戦後は孤独と貧困の中、鎌倉で創作活動を続けました。身近な事を題材にした口語短歌が共感を呼んでいます。

○郷土ゆかりの人物紹介+歌碑をめぐる散策
種田山頭火や尾崎放哉につながる「漂泊の歌人」山崎方代の生誕地を訪ね、彼の思想を形づくった原風景へ想いを馳せませす。

前スポットから 7分

カンカン地蔵

方代も叩いたようです。県内最古級の厄除け地蔵。自分の体の痛い部分と地蔵の同じ部分を石で叩くと良くなるといわれ、この愛称がつけました。宿場町を見守るように宿の北端に鎮座しています。

円楽寺

(えんらくじ)
境内のイチョウ(紅葉もすごい)も文化財! 修験の祖・役小角(えんのおづめ)によって開創されたといわれる古寺。本堂に安置される役行者坐像は国内最古級の木像です。また、方代の菩提寺でもあります。また、方代の菩提寺でもあります。また、方代の菩提寺でもあります。また、方代の菩提寺でもあります。



前スポットから 10分

ゴール



前スポットから 17分

左口神社

(さくちじんじや)
地元の方が綺麗に整備しています。この地に農業(養蚕)を伝えたとされる珊瑚珠姫(さんごすずめ)を祀る神社。地元では「御作神(おさくち)」とも呼ばれ、地名のもととなったという説があります。

敬泉寺

(きょうせんじ)
願掛けの石像もかわいい。徳川家康が寺内に兵士のための仮小屋を建てたとか、高台の観音堂に見張りの兵を置いたとの話が伝わっています。



ここで 1分

山崎方代の生家跡

右左口宿の敬泉寺隣です。大正3年11月1日に右左口村(現・甲府市右左口町)で8人兄弟の末っ子として生まれました。実家は水車業を営んでいました。あずまやや直筆で刻まれた歌碑があります。

スタート 35分コース (滞在時間は含まれません)

長田円右衛門 (御岳昇仙峡開発)

○郷土ゆかりの人物紹介+渓谷美堪能ウォーキング

昇仙峡を拓いた男・長田円右衛門の功績をしのびつつ、景勝地として名高いスポットをじっくり散策するのもおすすめです。

昇仙峡とは?

(しょうせんきやう)
奇岩と清流のダイナミックな渓谷美で知られる国の特別名勝で文人からも多く来訪しました。名物の御岳そばを味わったり、ロープウェイに乗ったり、一日楽しめます。

覚円峰

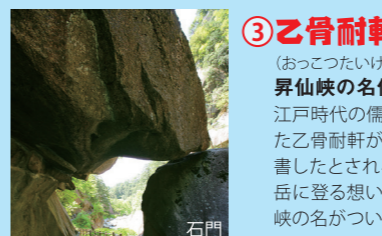
(かくえんほう)
海外の方にも人気です。昇仙峡の主峰。高さ180mの巨岩でその昔、僧・覚円が頂上で修業したと伝わります。パワースポットとしても有名です。



ゴール

円右衛門の旧碑

(えんえもんのかぶた)
現在は改修され移築。円右衛門生家近くにある石碑。彼の功績を称え、嘉永4年(1851)に建立されました。



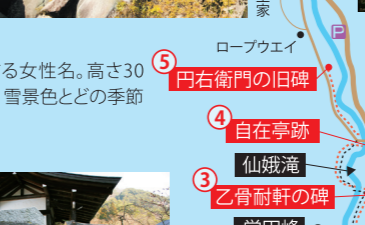
前スポットから 10分

長田円右衛門とは?

(おさだえんえもん)
江戸時代後期、甲斐猪狩村の出身で、人跡未踏の深山幽谷だったところを9年もの歳月をかけて御岳新道を完成。昇仙峡を世に知らしめた先覚者として知られています。

4 自在亭跡

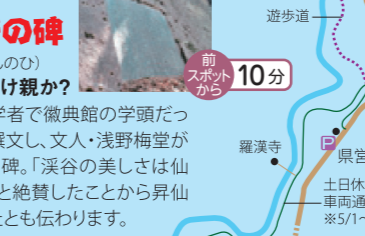
(じざいていあと)
与謝野夫妻が逗留したところ。仙娥滝上にあつた旅館の跡。現在の橋のたもとです。昭和9年に与謝野晶子・鉄幹が訪れた際、ここに宿泊しました。昇仙峡では31首の歌を詠んでいます。



前スポットから 10分

2 円右衛門新碑

(えんえもんしんひ)
今も東屋があつてほっとできます。遊歩道沿いの石碑。「手足にヒビ、アカギレを出しながら苦勞して山谷を開削し...」と碑文からいかに当時の様子が困難だったかがうかがえます。



ここで 5分

スタート 35分コース (滞在時間は含まれません)

3 乙骨耐軒の碑

(おつこつたいけんのひ)
昇仙峡の名付け親か? 江戸時代の儒学者で徳典館の学頭だった乙骨耐軒が撰文し、文人・浅野梅堂が書したとされる碑。「渓谷の美しさは仙岳に登る想い」と絶賛したことから昇仙峡の名がつけられたとも伝わります。

前スポットから 10分

1 接待亭跡

(せつたいいあと)
ここからの眺めがいいんです! 新道完成後、彼はこの場所にお休み処として「接待亭」を設けました。通行人にわらじを売ったり、湯茶の接待をしたそうです。俗称「お助け茶屋」とも呼ばれました。

前スポットから 10分